

## 履修方法

## 1. 通則

- (1) 研究指導のうち、自己の専攻する専門分野から一研究指導を選定する。
- (2) 学生の研究指導を担当する教員を指導教員とし、論文の作成、研究一般については、その指導に従うこと。
- (3) 前項のほか、指導教員が必要と認めるときは、所定の単位外にその指定する授業科目をも履修すること。

## 2. 修士課程（2年制）

- (1) 修士の修了要件は、通常2年以上4年以内在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- (2) 前項の30単位は、通常次の区分のように履修する。

	研究指導	授業科目（30単位）
第1年度	指導教員の行う研究指導	
		}30単位

第2年度 指導教員の行う研究指導

1年次前期に「スポーツ科学演習（2単位）」を履修しなければならない。また、指導教員担当の演習(1)A・B(2) A・Bの計8単位は必修とする。

- (3) 本大学の他研究科または他大学大学院（含 海外の大学院）で修得した講義科目の単位は、それぞれ10単位を限度として、併せて10単位までを修了要件である単位に替えることができる。

## 3. 修士課程（1年制）

- (1) 修士の修了要件は、通常1年以上2年以内在学し、所要の授業科目について30単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。
- (2) 前項の30単位は、通常次の区分のように履修する。

	研究指導	授業科目（30単位）
第1年度	指導教員の行う研究指導	30単位

ただし、指導教員担当の演習(1)A・B 計4単位、マネジメント科目6単位は必修とする。

- (3) 本大学の他研究科または他大学大学院（含 海外の大学院）で修得した講義科目の単位は、それぞれ10単位を限度として、併せて10単位までを修了要件である単位に替えることができる。

## 4. 博士後期課程

博士の学位を取得しようとする者は、通常3年以上在学し、指導教員の行う研究指導を受けたうえ、博士論文の審査および最終試験に合格しなければならない。